

浅草だより



令和3年度税制改正に関する提言

◎浅草法人会令和3年度事業計画と予算

地域の
元気社長

代々引き継がれてきた
浅草仏壇屋の使命
滝田雅敏さん
株式会社滝田商店 代表取締役



浅草だより



- 1 表紙シリーズ『地域の元気社長』インタビュー
滝田 雅敏さん 株式会社滝田商店 代表取締役
- 2 〔特集〕令和3年度 税制改正大綱
～法人会の税制改正提言～
- 4 〔税〕浅草税務署からのお知らせ
令和3年4月1日よりの『総額表示』について
- 5 台東都税事務所からのお知らせ
- 6 浅草法人会令和3年度事業計画と予算
- 7 行動する法人会 税制改正提言活動
- 8 『コラム』ホームページのいろは 第7回
- 9 NEWS イベント、研修会 令和2年12月・令和3年2月の活動報告
新会員のご紹介

〔表紙写真〕

『地域の元気社長』シリーズ第3回目の登場は、大正2年浅草の地で創業。100年を超えて浅草通りにお店を構える『仏壇屋 滝田商店』3代目の滝田雅敏 代表取締役。

早くから地元町会、お祭りの役員を歴任、その縁で浅草法人会の青年部会へ入り、青年部会長を務められた。4代目のご子息も現在青年部会で活躍。

お店は一般的な仏壇仏具をはじめ、仏像、位牌、数珠、線香、盆提灯、神棚、祖霊舎、寺院仏具など、幅広く宗教用具を取り扱う。特に数珠は日本でも有数な品揃え。14名の『仏事コーディネーター』の資格者を有し、単なる『物品販売』から『心の診療所』を標榜。

趣味は『和の芸事』。邦楽の小唄を20年、踊りのかつぽれを13年続ける。ご本人『唄って踊れる仏壇屋』を目指す。

信条は『人生プラスマイナスゼロ』。好きな言葉は福澤諭吉の『善を行うに勇なれ』。

(インタビュー記事はP1に掲載)

撮影/戸叶 恒夫氏





私の元気のもと、やはり毎朝お参りしているわが家の仏壇です。毎朝「今日も見守っていてください」と手を合わせますと、不思議と元気が湧いてきます。

鈴木…法人会の会報と動画に浅草の元気な社長のお話を掲載し、僕らの参考にさせていたなければということ、本日はよろしくお願いいたします。

今の、この心の不安が増している時代において、われわれ仏壇屋に求められる役割は大きいものがあると思います。理想は仏壇屋が心の診療医になれたらいいなと思っております。

滝田…うちは仏壇屋なのですが、創業が大正2年。100年をちよつと超えたところですね。初代の祖父が富山県の高岡出身で、高岡というのは銅器の産地なんですね。その銅器の仏具を中心にこの浅草の地で創業いたしました。私で3代目で、4代目になるせがれが今法人会の青年部会でお世話になってます。

その100周年という区切りもありまして、平成27年にこの店舗を新築。どうせ新しくするのなら、と日本一おしゃれな仏壇屋を目指して作りました。ゆつたり仏壇を見ただけのよう、1階から3階まで仏壇を展示しています。

今、うちでは14名の仏事コーディネーターの

資格者が対応にあたっています。仏壇、仏具の知識だけではなく、仏教の知識や仏事のしきたりに精通している人ですね。

鈴木…確かに私達、例えば仏壇を実際に買いに行くとなると、仏事コーディネーターの方がおいでになると、かなり安心してお話を伺えますね。仏事コーディネーターの方、社内でもどんな取り組み、進め方されているのでしょうか。コーディネーターになるまでとか。

滝田…基本的に、まずお客様に寄り添ってという原点がないと、いくら知識があっても役に立たないことになってきますので、心の支えのお手伝いという、基本線だけはぶれないようにしたいなと思っております。

鈴木…「私、取りたいです」と言った方は全てチャレンジしていただくような感じなのですか。

滝田…一応、うちの店に入っているだけで3年ぐらいつてから受けるように、とは言っておりますけど。

鈴木…それは素晴らしいですね。ガイダンスがかなり分厚いですが、資格を取るのにどのぐらい勉強を。

滝田…だいたい3年ぐらいで、受けて。おかげさまで順調に資格を得ています。

鈴木…六法全書を全部覚えるような感じですかね(笑)。社員の方はモチベーションにもつながるんじゃないかなという。何かその先が見えるというのか…

滝田…ええ。合格するとやっぱり自信もつきますし、よりお客さまへの説明も、説得力も増してきますね。

一 法人会の一番いいところは、異業種の交流

ができることなんですね。同業ではなかなか話せないことでも、業種が違っていると話しやすい。商売をしていて、参考になることがたくさんあります。

鈴木…次に地域と滝田さんの関わり合いや法人会との関わりなどのお話を…

滝田…青年部会では部長もさせていただきました。振り返ると楽しかったですね。

うちは平成12年にインターネットの通信販売を始めていたんですが、業界ではかなり早い方だと思えます。これは法人会の懇親会の席で、当時インターネットの重要性をすごく語ってくれた人がいて、半信半疑ですが、そこで始めたのがきっかけです。振り返りますと、法人会での出会いに本当に感謝しております。

鈴木…先日「もうちょっとホームページを面白くしなさい」というアドバイスもいただきました。私達にもどんどん教えていただけると、参考にさせていただきまますので、よろしくお願いたします。

浅草には、花柳界というお座敷の文化がまだ残っております。こういう和の芸事をしておりますと、こうした伝統文化への理解がより深まって、より楽しいですね。

鈴木…趣味の話など、教えてください。

滝田…昔からですね、和の芸事がやはり大好きでして、一応私本人としてはですね、歌って踊れる仏壇屋を目指しておるわけです。地元を盛り上げるのが一つ。あとはうちも文化を売っている商売なので、やっぱり古き良き文化、古き良き慣習は大切に残していきたいなという気持ち

持ちが強いですね。
鈴木…和の文化というのはまた海外からも注目されますから、そういう意味でも、かなりうまい具合に広報活動をしていただけると、いいですね。

鈴木…その元気のもとは何でしょうか？

滝田…私も父の後を継いで社長になってから30年近くなりますが、会社を自分のものだと思ったことは、度もないですね。私にとって会社はご先祖からの預かりものなんですね。これは3代目の宿命かもしれないませんが、やはり何とか、次の代へ引き継ぐのが私の使命かなと思っております。

鈴木…趣味である地元の文化もそうですし、それからお祭りもそうですけど、全てがそうやって先祖とか地域の先輩から引き継いでるものを下につないでいくというのは、全てに通じて一貫してらっしゃいますよね。

滝田…まあ、これはそういう環境で育ったせいもあるのかもしれませんが。特に商売が仏壇屋という部分もちよつとあるかもしれませんが。もう物心ついたときからご先祖あつての本人だつていうのはもう、父から刷り込まれてますので。その代わり「3代目は潰すぞ」、「3代目は潰すぞ」というのも散々言われ続けてまいりましたので、その影響が大きいと思います。

鈴木…最後に、このインタビュー、紹介していただけて次に繋げていきたいというふうに思っています。どなたかご紹介いただけますでしょうか。

滝田…ぜひ推薦したい社長さんは、浅草橋のテジー株式会社の玉越進社長をぜひご推薦したいと思っております。私が青年部会長のときに全国大会が沖縄でありまして、その全国大会と一緒に行っていただけて、昼も夜もいろいろ指導いただいた先輩です。

鈴木…本日はどうもありがとうございました。

（聞き手は鈴木広報副委員長敬称略）

※誌面の都合上、インタビュー記事は編集しています。併せてYouTube 浅草法人会チャンネルもご覧ください。